

清沢の棚田

KIYOSAWA NO TANADA

静岡県

「無農薬 無肥料 不耕起」
自然と向き合うまなびの棚田

棚田めぐり



秘境度



市街地からの所要時間を★の数で表しています。
詳細については、右記のQRコードから

棚田カードの配布場所
その他詳細はコチラから



静岡市の山間部、清沢地区に位置する清沢の棚田は、江戸時代の寛政年間には完成していたと傳承されています。この棚田は、数年間荒れた状態でしたが、静岡大学名誉教授の中井和弘先生を中心に結成された「清沢塾」によって、2000年の春から復元が始まりました。「耕さず、持ち込まず、持ち出さず、草や虫を敵とせず」という自然農を実践しています。その結果、活動開始から4年ほどでホタルが飛び交うようになりました。また、「楽しく、自由に、自主的に！」をモットーに静岡大学生をはじめ、中高生や各種市民団体、民間企業の農業体験を通じた学びの場にもなっています。

地域で取り組まれている保全活動

清沢塾は、静岡大学と静岡新聞社・SBS 静岡放送の共催で開かれた静岡大学50周年記念公開講座から生まれました。

1999年12月、自然農の提唱者・川口由一氏と「21世紀の食料・農業問題」について対話する中で、中井弘和先生から受講生に「草や虫を敵としない自然農を私たちも体験しよう」と呼びかけました。

翌2000年5月には、地元の人たちの協力のもと棚田の修復作業と自然農による稲づくりが始まりました。「棚田での稲づくりを通して学ぶ」という意味を込めて「清沢塾」称しました。

清沢塾は、先人たちが額に汗して、石をひとつひとつ積み上げ棚田を築いていった真摯な食への想いを大切に守り未来に伝えていきます。

年間イベント・行事

6月上旬 田植え祭
10月中旬 収穫祭

いち押し情報 /

きよさわ里の駅

TEL 054-295-3783

新鮮な地場産の野菜や加工品を販売しています。名物きよさわよもぎ金づば、いのししコロッケが好評です。

清沢塾の年間活動スケジュール

清沢の棚田では、一年を通じて活動を行っています。1月から3月にかけて田んぼと周辺の整備を行い、4月に苗床づくりを行います。5月には苗代の草取りと茶摘み、6月は初旬に田植え祭を開催し、毎週、田植えを行います。7月から8月にかけて、田の草取りや網張・電気柵設置。9月は田んぼ周りの整備し、10月に収穫祭として、稲刈り、脱穀を行います。11月に残りの稲刈りや脱穀、唐箕（とうみ）がけを行い、12月に収穫の感謝を込めて田んぼへわらを返します。

 有（車椅子用無）  乗用車10台

アクセス情報

住所：静岡県静岡市葵区相俣

公共交通機関

JR 静岡駅よりしずてつジャストライン（糞科線久能尾行）に乗車し、「下相俣」バス停で下車し、徒歩25分

自動車

新東名高速道路静岡スマートIC から車で約20分



お問い合わせ先 静岡県中部農林事務所

TEL 054-286-9269

棚田訪問の3原則

- ・農作業の迷惑にならないようにしましょう！農家の方に会ったら挨拶を！
- ・棚田の畦道や水路は農家の命！勝手に入らないように！
- ・写真撮影や SNS への投稿には最低限のマナーを守ろう！

#棚田に恋で
SNS に投稿を
お願いします!!